総合獣舎新築等工事の進捗状況

令和７年５月から始まった「総合獣舎新築等工事」の進捗状況をお知らせします



そうごうじゅうしゃ
◇「総合獣舎」とは？

サイ・カバ・チンパンジー・マダガスカル地域の動物種等の展示を行うほか、来園者の休憩・飲食スペースなどを備えた「エリアⅠ」における主要施設です。

―― 工事の状況を定期的にお知らせしています ――

令和8年10月

61th 10/11 開園記念日イベント

八木山動物公園 YAGIYAMA ZOOLOGICAL PARK フジサキの杜

◇給水管、排水管更新

総合獣舎の建設にあわせて、園内の受水槽と給水管、排水管の更新作業を進めています。
給水管や排水管は、管理通路に埋設されているため、作業車両に通行規制をかけ「掘削→撤去→新設→埋め戻し」を繰り返しながら、新しい管を敷設しています。



◇現場の様子（航空写真）

総合獣舎の建物の形が分かるようになってきています。

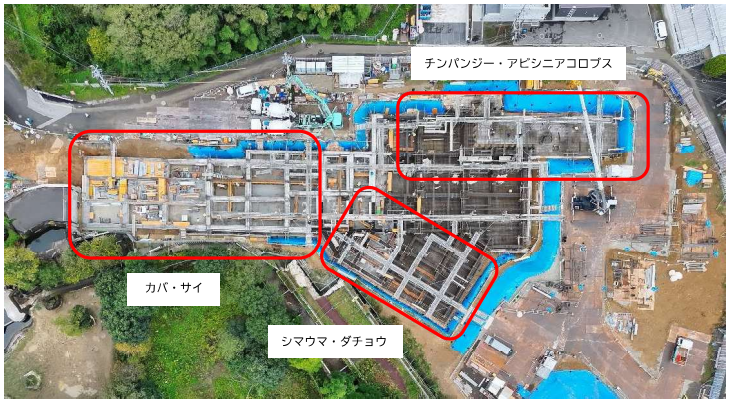


写真　―赤枠―の範囲
建物完成後、総合獣舎で飼育する動物の寝室や屋内展示室等となる部分

令和8年9月

◇建物の工夫

コンクリート打設が進み、少しずつ建物の形が分かるようになってきました。
総合獣舎のカバ屋内観覧室は、観覧通路の床をスロープ状に下げることで、水中のカバの様子を間近に観察できるように工夫して作っています。



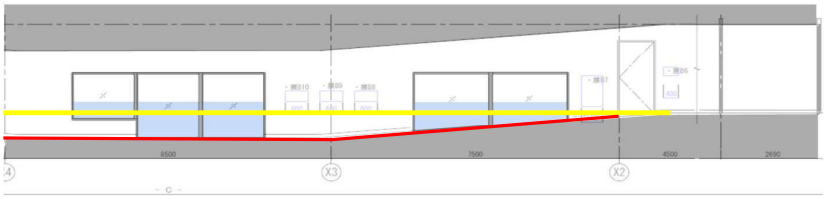
←【カバ屋内観覧室】

（写真 左）
黄線　１階床の高さ
ー赤線ー　通路床の高さ
※スロープ状の通路床

【カバプール部分】→

（写真 右）
ー青線ー　飼育員通路





カバ屋内観覧室の展開図（図中 黄線　１階床の高さ ／ ー赤線ー　通路床の高さ）



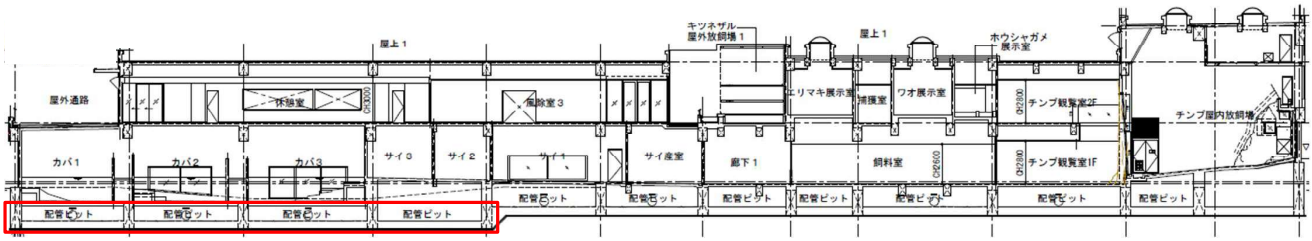
カバ屋内観覧室の完成イメージ図

令和8年8月



◇コンクリート打設

地下ピット床部分のコンクリート打設を進めています。
給排水管など壁を貫通する配管の位置には、あらかじめ「スリーブ※」を設置し、配管用の開口をあけておくことで、効率的に作業を行うことができます。



総合獣舎　断面図　　□：コンクリートを打設した範囲



鉄筋組立中



床コンクリート打設後

ポイント

「スリーブ」とは？

コンクリート構造物の強度を損なわず、後から配管や電線を通すため、事前に設置しておく筒状の部材のことです。



スリーブ

令和8年7月

ポイント

※耐圧盤　建物の重さを地面全体で支えるための土台となる部分です。

※捨てコンクリート　建物の高さの基準となり、また型枠や配筋の下地となるコンクリートです。

※地足場　作業員が現場内を安全に移動するための通路です。

◇基礎（耐圧盤）

地盤改良部の掘削が終わった部分から、基礎（耐圧盤）を作り始めました。
捨てコンクリートを打設し、地足場を立ててから鉄筋を組み立てていきます。
現場内に配置した大きなクレーンを使って、鉄筋などの資材を移動しています。



総合獣舎は横に長い建物のため、工区を分けて工事を進めています。

左側：捨てコンクリートを打設した工区 ／ 右側：地盤改良部を掘削した工区



捨てコンクリート打設



地足場



鉄筋組立



クレーン（高さ約40m）

令和8年6月



◇根切り（掘削）開始

地盤改良が終わった部分から、根切り（掘削）を始めています。掘りながら土留めの壁を立てていき、安全な作業環境を確保しています。
改良部分が見える深さまで掘るため、柱状の改良体が並んでいる様子が分かります。
掘り上げた土は、以前ガン生態園のあった場所へ仮置きし、埋め戻し土に使用します。



根切り（掘削）

カバ洞窟の近くから掘削を始めています。



柱状改良体

土の中にたくさんの柱が立っています。



掘削土置場

重機を使って、山状に積み上げていきます。

令和8年5月



◇１年経過

工事が始まった頃（左）と現在（右）の工事現場の様子です。
は虫類館やサイカバ舎などの建物がなくなり、景色が大きく様変わりしました。





令和8年4月

◇地盤改良（柱状改良）

建物を支える強い地盤にするため、柱状改良工法で地盤を改良していきます。

ポイント

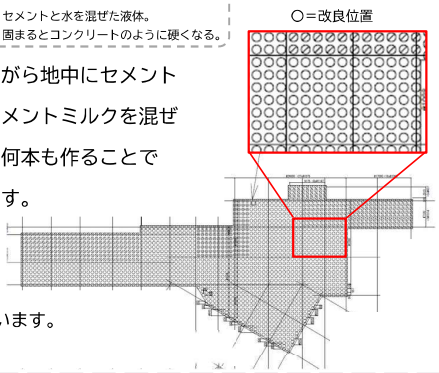
【柱状改良工法】

※セメントミルク
セメントと水を混ぜた液体。
固まるとコンクリートのように硬くなる。

地盤改良機で孔を掘りながら地中にセメントミルク※を注入し、土とセメントミルクを混ぜ合わせ、柱状の改良体を何本も作ることで強固な地盤とするものです。

総合獣舎 地盤改良図 →

約1,800本の柱状改良を行います。





地盤改良機



セメントサイロ

◇電線地中化（電気工事）

総合獣舎の建設にあわせ、電線を地中化し電柱を無くしていきます。
地中に電線用配管を敷設するため、園内の管理用通路に通行規制をかけながら、掘削作業を進めています。





地中化作業「掘削 → 電線用配管を敷設 → 埋め戻し」の繰り返し

令和8年3月



工事中だけの特別企画 開催　3/27
「仮囲いにお絵かきしよう！」

◇親杭打込み（山留）

総合獣舎本体の工事が始まりました。建物の基礎となる地下部分から進めていきます。
掘った土が崩れてこないようにするため、掘る前に親杭（H鋼）を地面に打込みました。
掘り進めながら横板をはめ込んでいくことで壁ができ、安全に作業を行えます。



←親杭作業中
（穴あけ）

総合獣舎はカバ洞窟と隣接するため、建物に近い位置に親杭を打込んでいきます



←打込み完了

親杭が等間隔に設置されました

◆ 工事中だけの特別企画！仮囲いにお絵かきしよう！ ◆

工事施工者さんにご協力いただき、仮囲いを使ったイベントを開催しました。
大きな白い壁（仮囲い）へお絵かきできる 工事中にしかできない特別企画です！
当日はすっきりしない空模様でしたが、たくさんの方にお絵かきしていただきました。
お絵かきしたシートは今後の工事で活用していく予定です。
ご参加いただいたみなさま、工事施工者のみなさま、ありがとうございました！



シート貼付け作業中



おしらせ看板



イベントの声がけ
（園長自ら！）



お絵かき中の様子





お絵かき後のシート（一部）

令和8年2月



特別企画展 開催　1/10～3/3
「どうなる⁉　八木山動物公園」

◇解体の様子

10月から解体している「は虫類館」や「ゴリラ舎」では、建物の基礎下部の杭を抜く作業を行っています。杭抜き用の重機は、アフリカ園路から見えるくらい背が高い機械です。
「サイカバ舎」「カバ洞窟（一部）」「アフリカ吊り橋」の解体も順調に進んでいます。
既存建物の解体が終わり次第、いよいよ総合獣舎の建設に取り掛かっていきます！



上空から見た様子　□は解体した施設



← 杭抜き用の重機

引き抜いた杭の一部
（長さ 6～11m）
↓





← アフリカ園路から
見える杭抜き用重機

令和8年1月

1/2,3 正月開園


対州馬

◇サイカバ舎　解体開始

は虫類館・ゴリラ舎に続き、サイカバ舎の解体が始まりました。
動物に近いところで解体用重機を使用するため、動物の様子を観察しながら、慎重に作業を進めています。
また、足場に防音パネルを設置し、作業音の影響が少なくなるように配慮しています。


サイカバ舎（↑　解体前）


サイカバ舎は、は虫類館側から解体していきます。

←　左の写真
解体が始まりました。
壁を倒しています。


（１月現在 →）
防音パネルの表面にはパネルの落下防止用のネットを張っています。

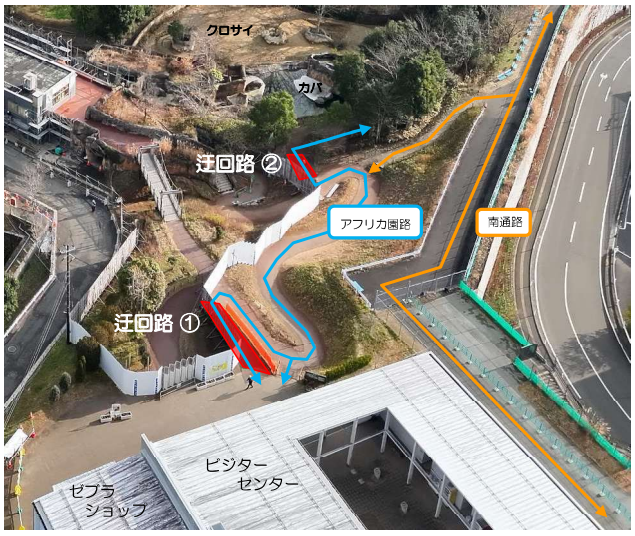
右の写真　→
飼料室部分の解体が終わり、アフリカ園売店の壁を壊しはじめています。



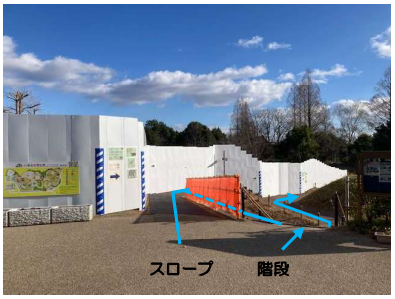
令和7年12月

◇「工事用仮囲い拡張」と「迂回路（うかいろ）の設置」

サイカバ舎や吊り橋を解体するため、園路と工事範囲を区画する仮囲いを拡張しています。
仮囲いの拡張により、アフリカ園路の入口が階段のみになってしまうため、ベビーカーや車いすを使用する方も安全に通れるように、スロープ状の迂回路を作りました。



【迂回路の位置】　①アフリカ園路入口　②カバ洞窟手前



←　迂回路①

ビジターセンター中庭から、アフリカ園へ向かう入口になります。

仮囲いパネルへ園内案内図と園路の案内を掲示しています。

迂回路②　→

閉鎖中のカバ洞窟を通らずに、カバ屋外放飼場前へ抜けられる園路です。

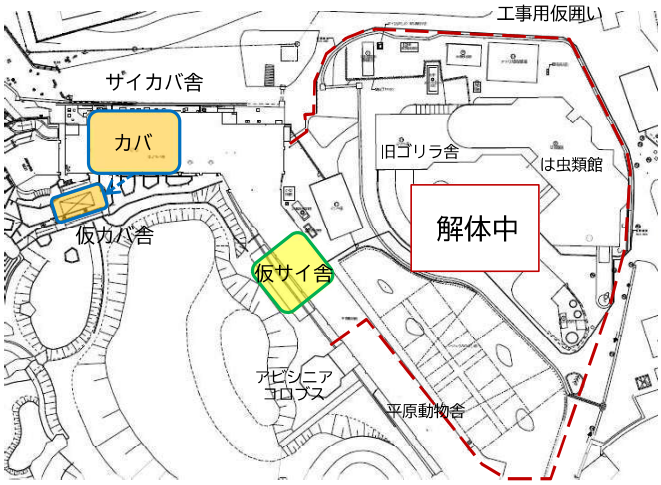


令和7年11月

11/3 秋の八木山フェスタ

◇仮カバ舎　改修

工事中の仮獣舎に使用するため、隣接するカバ受水槽室を「仮カバ舎」に改修しました。
カバを適切に飼育するため、室内には温水を溜められるプールを２頭分用意しています。
また、壁を開口し、仮カバ舎から屋外と洞窟のプールへ出るための扉も新設しています。



仮カバ舎（カバ受水槽室を改修）


【改修前】受水槽撤去後の室内


【改修後】プールと階段を新設

ポイント

解体を行っている周囲に、工事現場の安全確保や防犯対策のための仮囲いを設置しています。
園路や平原動物舎に近い箇所には、防音シートを追加し、作業音の軽減を図っています。


仮囲い（平原動物舎裏側）

サイとカバの引越しも無事に終わり、いよいよ既存サイカバ舎の解体が始まります。

令和7年10月

10/15 開園記念日

八木山動物公園フジサキの杜
ありがとう60周年
おかげさまで、開園60周年。これからも皆さまに愛される動物園を目指します！

◇旧ゴリラ舎・は虫類館　解体開始

建物内の設備取外し等が終わり、いよいよ建物本体の解体が始まりました。
旧ゴリラ舎・は虫類館のあった場所には、チンパンジー屋外放飼場等が出来る予定です。


解体前（は虫類館）


解体前（旧ゴリラ舎）






ゴリラ舎前・ドンの手形・足型


は虫類館床
お別れイベントでのイラスト



ゴリラ舎壁面・ドンとローラのイラスト



解体用重機を使用し、旧ゴリラ舎側から解体を始めていきます。

↑上の写真では、は虫類館外壁が撤去され、内部の丸い柱が見えています。

←左の写真は、屋根の撤去作業中。どんどん進んでいます。

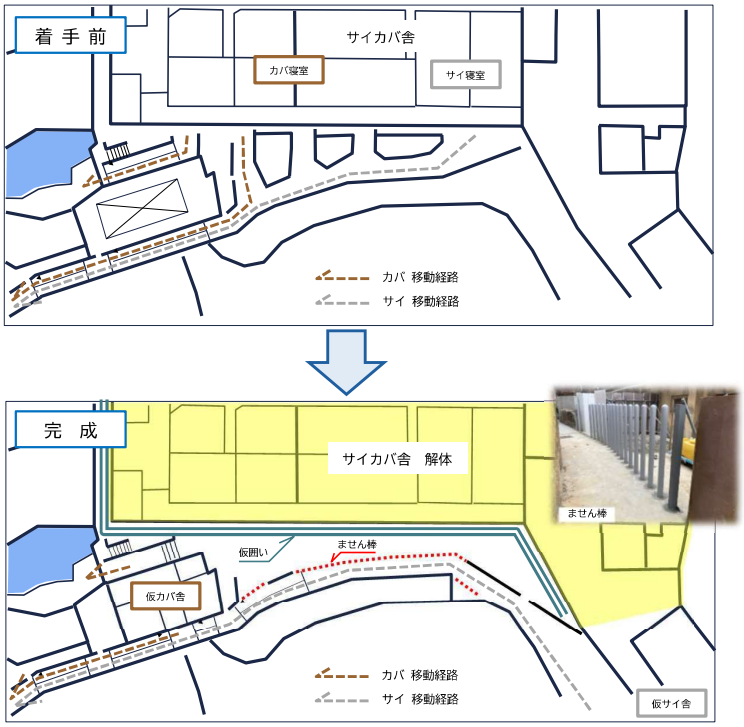
令和7年9月



60周年記念講演会 開催　9/13
「どうして動物園でホッキョクグマを育てるの？」

◇サイ・カバ放飼通路

サイとカバが、それぞれの仮獣舎から屋外放飼場へ移動する通路を作り直しました。











令和7年８月



ナイトズージアム開催　8/21～24

◇ひよこの家　解体

外壁パネルを撤去した後、解体用の重機を使用し「ひよこの家」を解体しました。
解体に伴い伐採した樹木の一部（枝や丸太）は、動物の展示等に活用する予定です。









解体前



外壁パネル撤去



解体中



解体完了

令和7年7月

◇仮サイ舎（平原動物舎）改修

サイカバ舎は、総合獣舎建設に伴い解体されます。
工事中のサイの寝室等に使用するため、隣接する平原動物舎の一部を「仮サイ舎」に改修しました。
サイを安全に飼育できるよう、寝室の壁や柵を頑丈に作りなおしたり、既設扉の補強を行っています。

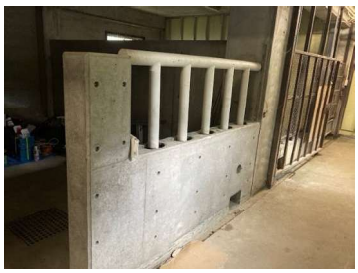


仮サイ舎（平原動物舎内を一部改修）



【寝室の壁と柵】→
頑丈に作りなおしました

←【扉の補強】
① 扉の強度を増すための横部材
② 扉が外れないための縦柱



ポイント

【特定動物】

サイ、カバは、動物愛護管理法施行令で定められた「人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物（＝特定動物）」に指定されており、愛玩目的での飼養又は保管は禁止されています。

動物園で特定動物の飼養等を行う場合には、特定飼養施設の構造及び規模に関する基準を満たした獣舎を準備し、市長の許可を受けなければなりません。

それ以外にも、特定動物の飼養又は保管の方法等、守らなければならない規定があります。

【特定動物標識】→



園内では、サイ、カバ以外にも特定動物を飼育しており、獣舎付近に標識を掲示しています。

令和7年6月

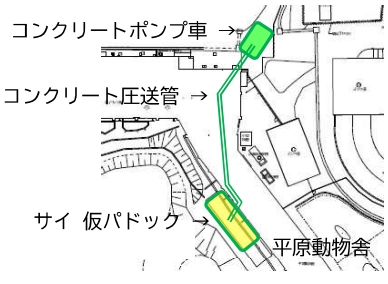
初公開
6月2日～
ホッキョクグマ
双子の仔

◇解体開始

総合獣舎工事期間中、サイ、カバの仮獣舎となる部分の解体作業を始めました。
解体作業中は大きな音や振動が発生するため、動物の様子を観察しながら進めています。

◇コンクリート打設

サイの仮パドックとなる部分等のコンクリート打設を行いました。
コンクリートポンプ車が打設場所へ近寄れなかったため、コンクリート圧送管を平原動物舎屋上に配置して、コンクリートを打設しました。







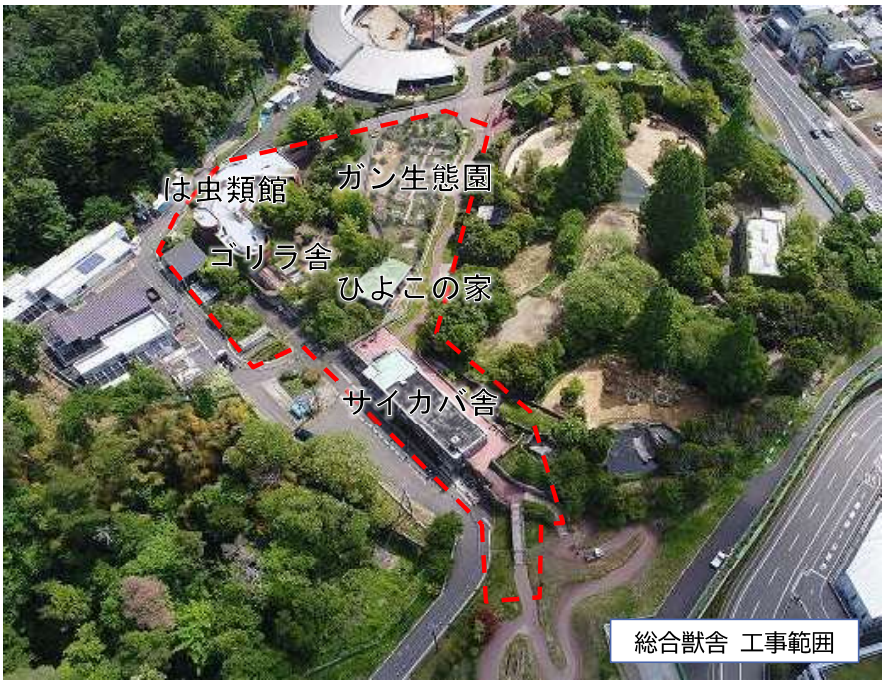
工事に伴う園内のできごと

○園路の一部を変更しました。
通行止め（吊り橋、中央園路）
○新しい園路（南通路）を開放しました。

○特別企画を開催しました。
「さよなら　アフリカ吊り橋」
お別れ記念カードプレゼント



令和7年5月



◇現場事務所設置

ぞう駐車場内に工事用の事務所を設置しました。

◇仮囲い設置

工事範囲を区画するため、仮囲いを設置します。

◇アスベスト調査

建物解体前に、アスベストの含有調査を行いました。

工事に伴う園内のできごと

○園路の一部を封鎖しました。

封鎖により観覧が中止となった施設

・サイカバ屋内展示場　・ひよこの家

○解体する施設の特別イベントを開催しました。

「ありがとう！ガン生態園」

「ありがとう！旧ゴリラ舎～ゴリラのいた情景～」